

棚田学会通信

第1号

1999年11月15日

☎184-8577

東京都小金井市本町6-5-3

ふるさときゃらぼん内

Tel 042-381-6721

Fax 0423-83-8614

会長挨拶 石井 進

8月3日の設立総会で棚田学会の会長を仰せ付かりました石井進でございます。実は昨秋以来、学会の準備の会に出席しつつ、果たしてうまく立ち上げることができるか、一抹の不安を覚えておりましたが、すでに500人を超える会員のご参加を頂き、マスコミでも大きく取り上げられる学会として発足できたことを大変喜んでおります。これもひとえに様々な形でご支援下さった全国各地の方々のお力添えの賜物と心より感謝を申し上げます。

その学会の初代会長にご推挙を頂くとは、まことに身にあまる光栄ですが、一方では重責に心ひきしめるものを覚えております。細分化された古い学問の枠を外した総合的な「棚田学」の樹立とともに、現実的な棚田保全に結びつく会としなければならないという、この学会の大きな目的を考えてみますと、私などはどうみても力不足であります。ただ会員の皆様方のご指導ご協力を頂きながら、一生懸命に努力する所存でございます。どうかよろしくお引き廻しのほど、お願い申し上げます。

さて10月6日に東京で第1回の理事会を開き、理事会内部の組織・役割分担を決定したのち、本年度の活動計画について種々討議をいたしました。まずこの「棚田学会通信」にありますような第1回談話会を12月4日(土)に開くことをはじめ、来年春のシンポジウム開催など様々なプランが話し合われました。次々と活動を展開して参るつもりですので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたしますとともに、どうか色々といよいよお知恵を拝借させて頂きたいと存じます。

以上、簡単ではございますが、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

「棚田学会発足」一記念行事も盛大にー

棚田学会会員各位には、平成11年8月10日付けの「棚田学会発足のお知らせ」にて既にご報告いたしておりますが、平成11年8月3日「棚田学会」が設立され、これを記念するシンポジウムと祝賀会が盛況裡に開催されました。以下、簡単に設立総会、及び関連の記念行事についてご報告いたします。なお、この学会の準備は、昨年9月に新潟県安塚町で行われた第4回「棚田サミット」後の、平成10年11月6日の初会合以来、有志による8回の会合を経て準備されてきたものです。

設立総会は、東京日本橋の三越劇場に会員約180名を集めて開催され、石塚克彦氏の開会宣言に引き続き、発起人を代表し石井進氏から設立の趣旨及び経過説明があり、中越準一前橈原町長の祝辞、林田英樹文化庁長官ほかの祝電紹介の後、矢野学安塚町長を議長に選出して議事に入り、準備会幹事提案の「棚田学会会則」「役員」「平成11年活動計画・予算」を一部修正の上原案通り決定し、中島峰広氏の閉会宣言により終了しました。

また、午後3時からは、同会場にて、石井進会長

を司会に、国立民族学博物館名誉教授佐々木高明氏、早稲田大学教授中島峰広氏、宇都宮大学教授水谷正一氏の3氏による、棚田学会設立記念シンポジウム「日本の原風景・棚田」が開催されました。シンポジウムは、パネラーのそれぞれの専門の立場から、棚田の歴史と文化、分布と特徴、社会構造と現状などについての解析と、今後の取り組みに向けての提言などがあり、その後、会場からの活発な意見交換が行われました。シンポジウム参加者は約300名を数え、会員外からの多数の参加が目立つなど、近年の棚田への関心の高まりを反映する盛況振りでした。なお、このシンポジウムの記録は、次回の棚田学会誌上に掲載する予定です。

さらに、6時からは会場を移して「棚田パノラマ体験展」・「棚田学会」関係者による合同祝賀会が開催され、棚田米を使った銘酒などを味わいながら歓談を深め、一同大満足のなかに一連の棚田学会設立記念行事は無事終了しました。

これらの行事の開催につきましては、劇団ふるさときゃらぼんと、棚田(千枚田)連絡協議会から多くのご援助を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

学会記事

第1回理事会を、平成11年10月6日(水)に開催し、理事会の体制や、当面の活動計画を決定しましたので、お知らせいたします。

1. 理事会の構成

運営の円滑化を図るため、理事会内に部会を設けて会務を分担することとし、下記のように担当理事を決定しました。皆様のご協力をお願いいたします。(※印 責任者)

庶務 渉外：*大島暁雄(事務局長)・石塚克彦・小川直之・樋口泰範
会 計：*大橋欣治・今中孝介
研 究 会：*千賀裕太郎・海老沢衷・木村和弘・小板清治・春山成子・山岡和純
編 集：*中島峰広・佐々木卓也・篠原孝・橋本直子・原田津・野村一正・水谷正一
(事務局：高橋久代)

2. 研究会について

研究会事業として、談話会、現地調査・見学会、研究発表会が考えられますが、今後数年間は体制整備の時期として、総会時のいわゆる研究発表会は実施しないこととします。

なお、談話会は当面、年3回程度開催することとし、第1回談話会を下記により開催することとなりました。談話会は、講師による講義の後、参加者による自由討議を行いますので、皆様のご積極的なご参加をお願いいたします。

この他、研究会事業として、現地調査・見学会を「柵田サミット」開催に合わせて実施すること、平成12年春に、東京で柵田関連のシンポジウムを開催することなどを検討しています。また、今後は海外の柵田見学ツアーの実施も話題となっていますので、ご期待下さい。

なお、次回以降の開催計画については、その都度、葉書にてご案内申し上げます。

< 記 >

期日：平成11年12月4日(土)
午後2時から5時
講師：中島峰広氏(早稲田大学教授)
「柵田オーナー制の展開」
会場：「表参道新潟館・ネスパス」
3階会議室
地下鉄「表参道駅」下車
Tel 03-5771-7711
(談話会終了後、会費制にて簡単な懇談会を予定しています。)

3. その他

1) 平成12年度総会

平成12年度の総会は、同年9月に行われる予定の「第6回柵田サミット」に合わせて、福岡県浮羽町で行うこととし、地元関係機関と日程などの調整を進めることとなりました。

2) 共催事業

平成11年10月23・24日に早稲田大学で行われた「WASEDAふるさとまつり'99」を共催し、23日には、大隈講堂小講堂において中島峰広・石塚克彦理事及び矢野学・堀口健治会員がパネラーを務める、「柵田シンポジウム『柵田に吹く風』」を開催しました。

シンポジウムでは、柵田の多面的機能や保全の取り組み、保全のための直接支払制度などについて約150名の参加者により熱心な討議が行われました。

編集後記

今回は名簿を中心とした「通信」にさせて頂きました。

手作りによるすべて零からの出発で、皆様に満足されるような「通信」になっていないものと思います。

体裁、内容、その他編集全般についてご意見がございましたら編集部にお寄せ下さい。お願い致します。(編集部)